

## 令和4年4月 定例教育委員会会議録

開催日	令和4年4月20日(水)
開催場所	半田市役所 会議室305
出席委員	教育長 鈴川慶光 委員 榊原肇 委員 久米宏和 委員 桂優子 委員 正村日登美
説明のため出席した職員	教育部長 岩橋平武 学校教育課長 森田知幸 主任指導主事 鈴木康弘 指導主事 高下隆史 給食センター所長 前田成久 生涯学習課長 青木美希 スポーツ課長 加藤計志 スポーツ課主幹 長坂壮浩 図書館長 山下由美 博物館長 関正樹 南吉記念館長 遠山光嗣
事務局	学校教育課総務担当副主幹 渡辺 富之
報告事項	(1) 寄附、後援願等について (2) 児童生徒(園児)の交通事故・問題行動等について (3) 令和4年度学校・幼稚園訪問実施要項について (4) 令和3年度学校運営協議会の活動報告(成果と課題)について (5) 令和4年度学校運営協議会委員等の委嘱について (6) 令和4年度半田市教育支援委員会委員の委嘱について (7) 令和4年度半田市幼児教育支援委員会委員の委嘱について (8) 令和4年度半田市子どもサポート会議委員の委嘱について (9) 令和3年度文化活動全国大会等出場激励金の支給結果について (10) 令和4年度ゲストティーチャー登録者リストについて (11) 令和4・5年度半田市スポーツ推進委員の選任について (12) 各種事業について ①クラシック音楽入門講座について ②亀崎図書館おたのしみ会、亀崎図書館オクシヤ健康教室 2022 について ③初夏の旧中埜家住宅一般公開について ④正八ちゃんの端午の節句について ⑤童話創作講座について ⑥ふるさと納税 PR チラシについて
各課事務連絡	博物館

〈 開会 10時 〉

<p>半田市長挨拶及び「幸せになるために教育を実現する会議」の概要説明 企画課長も同席</p>	<p>教育委員の皆様には日頃より半田市政に様々な分野でご尽力いただき心から感謝申し上げます。</p> <p>貴重な教育委員会の時間を頂戴し本年度、市長部局で行う「幸せになるための教育を実現する会議」についてご説明させていただきます。</p> <p>この度、当該会議を立ち上げようとしたきっかけは、私の考える市政の基盤としている市民の幸せをどう追求していくかという使命が原点にあります。</p> <p>全市民が幸せとを感じることをゴールとしていますが、まずは義務教育課程にある子どもたちが幸せとを感じることや幸せになる力を身に付けることを学校現場で何かできないかと考えたことが始まりです。</p> <p>これに加えて、今日の社会情勢等から幸せに対する価値観や意識などに偏った傾向があるのではないかと日々感じていることから、様々な方々との議論を通じて、「本当の幸せ」について追及していきたいと考えています。</p> <p>具体的な運用としまして、まずは市長部局にて当該会議を経て一定の意見を取りまとめ、総合教育会議を教育委員会との協議の場にしたと考えています。</p> <p>どこまで具体的な協議ができるか分かりませんが、学校現場で先生方は日々忙しく奮闘されていることは承知していますので、単に新たな事業を増やすという視点だけではなく、職場環境の改善なども含めた議論もしていきたいと考えています。教育委員会とはこれまで以上に連携を図って進めてまいりますので、引き続きご協力をお願いいたします。</p>
<p>1. 前会の会議録の承認</p> <p>2. 教育長報告</p>	<p>(事務局)</p> <p>3月定例会の会議録について概要説明 → 承認</p> <p>(教育長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3月31日に退職者辞令伝達式、4月1日に新規採用者辞令交付式を行った。今年度より新たに半田市で勤務される校長先生が在籍する学校へ訪問したが、どの学校も順調にスタートすることができている。</li> <li>・4月2日は少年少女発明クラブ開校式が行われた。当クラブは毎年抽選となる人気のクラブで学年に応じたクラス分けを行い、毎月1回（夏季休業中は2～3回）をベースに企業エンジニアOBのボランティアの方々がマンツーマンで指導し、10月の作品発表会に向けてスタートした。</li> <li>・4月6～8日は入学式、入園式があり、乙小・青中・花幼に訪問した。各校、園ともに保護者の入場制限をしてコロナ感染対策を実施。このうち、入園式で感じたこととして、式の最後まで座ってられない子どももいて、その姿に険しい表情で接している保護者の姿があった。終始座ってられない子どもの行動も周りに迷惑をかけられないと思う保護者の気持ちもわかるが、普段の家庭での親子の接し方がある中で、厳しさだけではなく寄り添いながら、子どもたちの成長を上手くサポートしていく必要性を再認識した。</li> <li>・4月13日、今年度よりスポーツ課が教育委員会の所管となる機構改革があったことから、スポーツ推進員の委嘱式を行い22名の委嘱を行った。</li> <li>・4月15日は市校長会議を行い、今年度の市校長会長は乙川中が担い、小学校代表は成岩小、中学校代表は青山中となった。会長を中心に横の連携を図り、各校揃えるところは揃え、各校の特徴を活かすべきことは活かし、支え合いながらやっていくことを確認した。</li> </ul>

<p>3. 議題 報告事項 1) 寄附、後援 願等</p>	<p>(学校教育課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7 団体より寄附。</li> <li>(内訳：環境教育基金贈呈品各種、書籍、朝礼台、冊子「生き物と新美南吉」)</li> <li>・12 件の後援名義を許可。</li> </ul>
<p>2) 児童生徒 (園児)の交通 事故・問題行動 等</p>	<p>(指導主事)</p> <p>令和4年3月25日～4月19日の交通事故・問題行動等について。</p> <p>交通事故：2件  3月25日(金)1件  4月13日(水)1件</p> <p>問題行動(被害)等：1件  4月12日(火)</p> <p>交通事故以外の事故：なし  学校等被害：なし  不審者情報：1件  4月19日(火)</p> <p>(委員からの質問等なし)</p>
<p>3) 令和4年度 学校・幼稚園訪 問実施要項につ いて</p>	<p>(主任指導主事)</p> <p>学校訪問の概要について教育委員会として、小中学校を訪問して指導していくが、1番に趣旨が記載されている。愛知県教育委員会作成の「教員研修の手引」には「あいちの教育ビジョン2025」が示されている。そこには、『自らを高めること』と『社会の担い手となること』を基本とし、ふるさとあいちの文化・風土に誇りをもち、世界的視野で主体的に深く学び、かけがえのない生命や自分らしさ、多様な人々の存在を尊重する豊かな人間性と『知・徳・体』にわたる生きる力を育む、あいちの教育を進めます」とある。学校訪問では、これを踏まえて、2番の着眼点に注目しながら指導を行う。</p> <p>本年度の半田市の教育目標のキーワードが、「地域とともに」で、例えば(1)①については、学校が、「地域の特色を生かした」学校づくりを目指しているか、その手だてはどうかなど、指導いただきたい。また、コミュニティ・スクールの充実を目指すため、(2)⑥については、これまで以上に、社会・地域に開かれた教育活動を展開しているかどうか注目している。(3)については、学習指導要領に関連している。学習指導要領では、「主体的・対話的で、深い学び」がキーワードの1つとなっている。半田市教育委員会としても、「主体的・対話的で、深い学び」は、重点目標の1つとして掲げているため、「主体的・対話的で、深い学び」つまり、子どもが主体となり、生き生きと学習に取り組んでいるのか注目している。</p> <p>また、委員の皆様には、これにとらわれることなく、日ごろから大切に考えてみえることを始め、様々な角度から教職員に対して忌憚のないご指導・ご助言をいただきたい。</p> <p>令和4年度の幼稚園訪問の概要について、委員の皆様には1の目的を踏まえて、ご指導いただきたい。幼稚園では、特設保育時間を設定しているが、全員の教諭がその時間を参観し、学び合う場に位置付けている。午後の協議会でも、全員で参観した</p>

	<p>特設保育時間を中心に研究協議をするが、委員の皆様には、参観いただいた園児の活動の様子を通して、幼稚園教諭の声かけやかかわり方が適切であったかどうかご指導いただきたい。その他、お気づきのことにつきましても、委員の皆様にご指導・ご助言をいただきたい。</p> <p>(委員からの質問等なし)</p>
<p>4) 令和 3 年度 学校運営協議会 の活動報告（成 果と課題）につい て</p>	<p>(主任指導主事)</p> <p>令和 3 年度の各小中学校での、学校運営協議会の成果と課題のうち、成果については、それぞれの学校で、学校運営について様々な角度から意見をうかがっている様子が確認できる。昨年度もコロナ禍において、学校行事の開催について協議会から意見をいただきながら進めていた学校が多い。協議会の目的の一つである「保護者及び地域住民等の学校運営への参画の促進や連携強化」を進めることができた。まだまだ十分とは言えないが、徐々に、学校運営への意見をいただいたり、意見を生かして学校運営を行ったりするなど、本来のコミュニティ・スクールとしての活動も増えている。また、授業や学校行事等様々な場面で支援をいただいている様子がみられる。コロナ禍において、感染症対策に工夫を凝らしながら、学校運営協議会が中心となって、学習を支えていただいたり、学校行事をお手伝いいただいたり、環境整備や登下校の安全指導もしていただいている。成果は様々だが、各校の特色を生かして工夫している様子がみられる。</p> <p>一方、課題については、まず、支援という点で、感染症対策を行いながら活動を行ってきたものの、コロナ禍前に比べると、活動機会が減ってしまったことが挙げられる。引き続き、このような状況が続く中、新たな支援の方法や子どもと地域との交流の在り方を探っていく必要がある。</p> <p>次に組織に関し、学校運営協議会の委員について、長年引き受けていただいている委員が交代を希望した場合に、新たな委員の選出に苦勞している学校がある。持続可能な組織にするためにも、新たな人材確保が重要である。</p> <p>また、各校からの成果と課題にはないが、昨年度は、コミュニティ・スクールの周知という点で、リーフレットの作成・配付に加えて、教育委員会のホームページ内に各校のコミュニティ・スクールの活動紹介のページを作成し、その充実にも努めてきた。毎月 1 校ずつ更新を行い今後も、教育委員会として、学校とともにコミュニティ・スクールの周知を図っていく。</p> <p>以上、昨年度の成果と課題を報告とし、今年度も各学校の学校運営協議会がさらに充実するように、各学校の成果や課題を情報交換できる、半田市全体の学校運営協議会を開催していく予定。ただし、新型コロナウイルス感染等に関する状況によっては会議の延期または中止をせざるを得ない場合もあり得る。</p> <p>(教育長)</p> <p>コロナ禍の影響で中止となった行事等もありましたが、今年度も引き続きやれる工夫をみんなで考えて、安易に中止にすることのないよう校長会議でお願いをした。</p>

(榊原委員)

課題の中で委員の選出が困難であるとの報告があったが、地域には必ず優れた人員はいるはずで、何らかの原因で選出できていないと推察する。どのような方法で選出すると有効的か各委員に考えはあるか。

(正村委員)

花園小学校の主任児童委員で参加していた当時の話ではあるが、選出される委員は固定化され充て職として役が割り振られている状況で、学校から例年通りの行事等をお願いされ、委員はそれをやるだけの状況であった。そのことで子どもとのつながりが希薄となり、活動事態が地域に浸透しないことが委員の選出に悪影響を及ぼしていると感じた。

まとめ役を担うコーディネーターは活動の活性化を図るために必要な人材で、適任者を選出することが理想である。

(桂委員)

宮池小学校の運営協議会に参加させてもらっているが、委員選出は充て職ではなく、コーディネーターが委員の意見を拾い上げうまく取り回している。参加した委員が活発に意見を出したくなる場と雰囲気は重要である。

(榊原委員)

学校のためならと快く動いてくれる人は地域にいるが、学校との協議の場が年数回では人選するうえで情報共有にまで至らない。地域は学校とのコミュニケーションの機会を増やしコミュニティ・スクールの活性化を図ることで、学校を核とした地域の活性化を目指すことが理想である。

(久米委員)

亀崎中学校では、PTA 総会の資料作りなど学校の困りごとに委員が積極的に関りをもつ傾向にあり、良い雰囲気の中かで実施できている。委員の人選も特段困っている様子はないものと認識している。

(主任指導主事)

委員の選出については、うまくいっている学校とそうではない学校がある現状。教育委員会では市民への周知として各学校の活動状況を可視化し情報公開を行ってきた。

また、情報交換会を開催し他校の取り組みなど取り入れながら組織の充実を図ってきた。コミュニティ・スクール導入後4年が経過し、徐々に成熟していると感じているが、学校の活動計画に盛り込むとともに引き続き情報発信と組織の充実を図っていくよう各校へ指導していく。

(榊原委員)

教育委員としても各校への訪問時にコミュニティ・スクールの現状について伺ってみたい。

	<p>(教育長)</p> <p>学校側もこれまで以上に運営委員とコミュニケーションをとり、お互いの困りごとなど共有し解決に導けられるよう取り組むようにしたい。</p>
5) 令和 4 年度 学校運営協議会 委員等の委嘱	<p>(主任指導主事)</p> <p>令和 4 年度の学校運営協議会の委員について、各小中学校から、推薦者名を報告していただいた。今年度は 161 名に委嘱する。人数は昨年度と比べ 2 名の増で、「半田市立小中学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第 8 条の規程に基づき任命するもの。この方々が中心となって、各学校の活動を進めていただくこととなる。</p> <p>(正村委員)</p> <p>学校によってコーディネーターがない組織もあるが、先生が担っているか。</p> <p>(主任指導主事)</p> <p>コーディネーターの配置については必置の条件事項はなく、地域主体の協議体であるので教員が行うことはない。</p> <p>(正村委員)</p> <p>コーディネーターに謝金が支払われているが、運営委員と兼務している人もおり支出に際して規定などはあるか。コーディネーターの存在は重要で必要な人員であることは理解しているが、しかるべき方に適切に支払えているか。</p> <p>(学校教育課長)</p> <p>これまでの学校運営協議会の成り立ちから予算措置の経緯も踏まえ、支出の考え方を整理する必要があると考えている。</p>
6) 令和 4 年度 半田市教育支援 委員会委員の委 嘱	<p>(学校教育課長)</p> <p>今年度は 16 名の方に委嘱する。</p> <p>(委員からの質問等なし)</p>
7) 令和 4 年度 半田市幼児教育 支援委員会委員 の委嘱	<p>(学校教育課長)</p> <p>今年度は 9 名の方に委嘱する。</p> <p>(委員からの質問等なし)</p>
8) 令和 4 年度 半田市子どもサポ ート会議委員の 委嘱	<p>(学校教育課長)</p> <p>今年度は 28 名の方に委嘱する。</p> <p>(委員からの質問等なし)</p>
9) 令和 3 年度 文化活動全国大	<p>(生涯学習課長)</p> <p>この激励金は、平成 26 年度から、文化活動の振興を図るため、全国大会に出場</p>

<p>会等出場激励金の支給結果について</p>	<p>する方などへ支給しているもの。令和3年度は、24件支給。令和2年度の12件に対して、2倍になっているが、コロナ渦であった状況に比べて昨年度は大会が開催されたことが大きな要因となっている。</p> <p>全国大会出場者には都合がつく限り市長室にお越しいただくとともに、報道機関へ情報提供することで新聞に掲載してもらうこともできた。</p> <p>(委員からの質問等なし)</p>
<p>10) 令和4年度ゲストティーチャー登録者リストについて</p>	<p>(生涯学習課長)</p> <p>今年度は、芸術や文化をはじめ、15分野のジャンルの中から、148講座にゲストティーチャーとして登録。</p> <p>ゲストティーチャーが講師を務める講座「まなびとゼミ」においては、令和3年度は、24講座開催し、延べ636人が受講した。</p> <p>(委員からの質問等なし)</p>
<p>11) 令和4・5年度半田市スポーツ推進委員の選任について</p>	<p>(スポーツ課長)</p> <p>令和4・5年度半田市スポーツ推進委員として、22名に委嘱する。</p> <p>任期は2年間で、内訳は、前期からの継続者が18名、新任の方が4名となっている。</p> <p>前期までは21名で、そのうち3名の方が退任され、新たに4名の方に委嘱したことで1名の増となる。規則上の定数が25名で、今後、更に増員できるよう努力していく。</p> <p>スポーツ推進委員は、地域と行政を繋ぐコーディネーターの役割として活躍いただき、スポーツ課としても、より一層、スポーツの推進を図っていく。</p> <p>(委員からの質問等なし)</p>
<p>14) 各種事業について</p>	<p>(図書館長)</p> <p>①クラシック音楽入門講座について</p> <p>5月21日(土) 午前10時30分から、本館2階第1会議室・閲覧室にて「クラシック音楽入門講座」を開催する。今回は名曲解説編と題し、よく耳にする名曲をセントラル愛知交響楽団音楽主幹 山本雅士氏が楽しく解説。金城学院大学「リリーミュージック」の皆さんによるミニコンサートもあり、図書館が所蔵するCD、DVDを紹介し、貸し出しを行う。定員は40名で、5月10日から先着順で申し込みを受け付ける。</p> <p>(榊原委員)</p> <p>この企画を通じて図書館に所蔵するCDの紹介をするとあったが、音楽に関連する本の紹介もできたらいいと考えるがどうか</p>

(図書館長)

今回は時間の都合上、残念ながら本の紹介はできない。

② 亀崎図書館おたのしみ会、亀崎図書館オタツシャ健康教室 2022 について

【亀崎図書館おたのしみ会】

6月19日(日) 午後2時から、亀崎公民館2階ホールにて「おたのしみ会」を開催する。読み聞かせボランティア「きりんの会」、「乙小ひまわりの会」の皆さんが、大型紙芝居やパネルシアターなどを上演。

定員50名で、5月13日から22日まで亀崎図書館で申し込みを受け付け、応募者多数の場合は抽選を行う。

【亀崎図書館オタツシャ健康教室 2022】

6月24日(金) 午後2時30分から、亀崎公民館2階ホールにて「オタツシャ健康教室」を開催する。シニアヨガと音読を組み合わせ、心身の活性化を図る。シニアヨガの講師は、ゲストティーチャーに講師登録されている松井りさ氏。定員は20名で、5月24日から6月7日まで亀崎図書館で申し込みを受け付け、応募者多数の場合は抽選を行う。

(博物館長)

③ 初夏の旧中埜家住宅一般公開について

5月21日(土曜日)、22日(日曜日)、30日(月曜日)に、“半六さんの別荘で音楽を楽しもう”というコンセプトで初夏の一般公開を行う。建物内・常設展示の見学と、セントラル愛知交響楽団、金城学院大学リリー・ミューズ、日本福祉大学合奏研究会吹奏楽団によるミニコンサートを楽しめる公開日となっている。ミニコンサートは、昨年11月に初めて行い好評につき、今年は回数を増やして行う。

(南吉記念館長)

④ 正八ちゃんの端午の節句について

正八ちゃんというのは南吉の本名で、子どもの頃の南吉になったつもりでこどもの日を楽しもうという行事。

5月4日、5日の両日、元技術者で自称竹トンボおじさんが空気力学を元に改良したというとてもよく飛ぶ竹とんぼを使った竹とんぼ体験、市民と一緒に整備中の童話の森を舞台にしたクイズラリー、そのほか南吉童話の歌やお話会を行う。

⑤ 童話創作講座について

今年度の新美南吉童話賞は、次回の定例教育委員会で報告するが、それに先駆けて童話創作講座の案内。5月28日(土)、7月2日(土)の2回で、コロナ対策のため換気のできる部屋ということでアイプラザの会議室で行う。講師は東海学園大学教授高橋一元(かずもと)先生で、本講座で創作した童話を新美南吉童話賞に応募することも可能。



	<p>⑥ふるさと納税 PR チラシについて</p> <p>寄附募集では、寄付金控除は受けられますが、いわゆる返礼品はない、本来の形の寄付を募るもの。どなたでも気軽に寄付ができるように、1 口千円からの受付で郵便局の払込票が付いており、寄付をいただいた方には返礼品ではなくお礼の気持ちとして寄付額に応じた、絵葉書の送付や過去 1 年分の記念館だよりと展示会の解説資料の送付、また記念館だよりや HP への氏名の記載をさせていただきます。</p> <p>また、一般的な返礼品付きのふるさと納税で「新美南吉顕彰基金」にご寄附いただくことも可能で、返礼品は南吉ファンの気持ちに叶ったものを用意したいと思い、地元企業に協力してもらい 2 つ新たな返礼品を開発した。</p>
各課からの事務連絡	<p>(博物館長)</p> <p>4月16日(土)から6月12日(日)までの、第37回知多工芸展について、5月8日(日)の午後1時から陶芸家 都築青峰(つづきせいほう)氏による、製作時の裏話などが聴ける「ギャラリートーク」を開催する。</p> <p>2点目は、半田市指定天然記念物「萬三の白モッコウバラ」のお祭について、国の登録文化財「小栗家住宅」の庭に咲く、半田市天然記念物「萬三の白モッコウバラ」を公開する、モッコウバラ祭については、密を避ける対策として、事前予約制、入替制により、4月16日(土)から5月1日(日)の日程で実施することが、小栗家を始め関係者で組織する実行委員会で決定した。博物館の職員も現地で解説等を行っており、事前予約制ですが人数に余裕があれば当日の見学も可能。</p> <p>(榊原委員)</p> <p>喫茶はいつごろから開店するか。また、コロナ対策としていた入館時の記名の撤廃は利用しやすくなりありがたい。</p> <p>(博物館長)</p> <p>出店業者を募集し先日1社を決定し、現在出店時期等を6月中旬から7月上旬の夏休み前に開店できるよう調整中である。</p> <p>入館時の記名は4月1日より撤廃しているが、学習室については長時間の利用が伴うため、引き続きお願いしている。</p> <p>(主任指導主事)</p> <p>制服総選挙は順調に進んでおり、新聞報道に加え乙川中学校にCACの取材が入る予定。</p>
委員からの意見提言	<p>(久米委員)</p> <p>先日さくら小学校の駐車場で停車し作業をしていると、駐車場内を猛スピードで走行するパッカー車と遭遇したため停車を求め指導した。</p> <p>(教育長)</p> <p>教育委員会からも注意喚起を行う。</p>

	<p>(榑原委員) 赤レンガの清掃作業を地域で取り組もうと「赤レンガ応援隊」を結成した。5月8日を初回として、今後奇数月での清掃を実施していく予定。半田中学校にも声掛けし生徒も参加してもらえる運びとなった。</p> <p>(正村委員) 制服総選挙について、花園小学校の6年生の児童が自ら制服を選ぶことに参画できたことでうれしさと同時にやりがいを感じられることができたこと、喜びの声があった。</p> <p>(榑原委員) 今年度より機構改革したことは承知しているが教育委員会では具体的にどのような変化があるのか。</p> <p>(教育部長) スポーツ課が教育委員会に移管され、これまでの「健康とスポーツ」という観点による機構だったものから、「生涯教育におけるスポーツ」の重要性を鑑みた組織改革が行われた。 機構改革とは直接関係ないが、市長部局による「幸せになるための教育を実現する会議」を経て、市長から教育の在り方が提言される。 学校教育課に在籍していた建築技師がすべて建築課へ異動し、建築技師は市のすべての公共施設の計画的な建替えや更新を担うこととなった。</p>
次回開催等	<p>(事務局) 5月定例教育委員会 日時：5月25日(水) 10時00分～ 場所：半田市役所 会議室402 6月定例教育委員会 日時：6月29日(水) 10時00分～ 場所：半田市役所 会議室303 7月定例教育委員会 日時：7月26日(火) 10時00分～ 場所：半田市役所 庁議室(4階)</p> <p>(教育長) 4月定例教育委員会を終了する。</p>

〈 閉会 12時00分 〉